

採択理由

プログラム名： 気候変動に対応した新たな社会の創出に向けた
社会システムの改革プログラム
課題名： グリーン社会 ICT ライフインフラ
中核機関名： 慶應義塾大学

コメント

本提案は、センサネットワークを活用した「グリーン社会 ICT ライフインフラ」を開発し、家庭施設のエネルギー消費の最適化や、気候変動に対する地域の脆弱性分析をもとに対応する適応策を策定し、その効果を実証する取組であり、適応のためのソーシャルキャピタルの高いコミュニティ形成というコンセプトは重要で、高く評価できる。また、情報、政策、医学、経済分析等を含めた多岐にわたる試みであるが、要素技術、社会技術及び情報活用技術のバランスが取れている。研究体制としては、自治体、大学及び民間企業との連携が準備され、実施期間終了後の継続性も期待できる。実施に際しては、ソーシャルキャピタルの高いコミュニティ形成を、気候変動の適応策と具体的にどのように結びつけるか、また、CO2 削減をどのように適応計画に反映させるかを明確にすることを期待する。